

会 議 録

(7-1)

会議の名称		令和8年度 第2回武里地区地域づくり推進協議会	
開催日時		令和8年7月25日(土曜日)	開 会
			午前10時00分
		閉 会	午前11時15分
開催場所		武里市民センター2階 会議室1	
議長(会長等)氏名		会長 伊澤 秀雄	
出席者	委員氏名	(出席人数：12人)	
		伊澤 秀雄、山崎 勇喜、久保谷 実、河合 みよ子、志村 美智子、	
		樋口 誠、山本 智英、砂川 優希、阿部 千顕、板垣 浩太、綿貫 稔、	
	岡田 不二夫		
事務局	(出席人数：6人)		
	市民生活部長 篠原 直樹、市民生活部次長 小峯 崇弘、		
	武里市民センター所長 溝口 通明、武里市民センター主査 原田 瞬		
武里市民センター主任 宮本 順子、武里市民センター主任 松本 直			
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 11月のイベントに向けたアイデアの意見のまとめと要約について (2) 早期に着手可能なイベントの実施内容について (3) 課題解決のための手法の検討にかかる意見のまとめと要約について 4 その他 5 閉会 ※(すべて公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		資料1 11月のイベントに向けたアイデアの意見のまとめと要約について 資料2 早期に着手可能なイベントの実施内容について 資料3 課題解決のための手法の検討にかかる意見のまとめと要約について	
会議録の作成方法		☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録	
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【1. 開会】
	会議を公開する旨の報告、傍聴希望者ありの報告。
	【2. あいさつ】
会長	《伊澤会長あいさつ》
事務局	春日部市地域づくり推進協議会条例第6条の規定により、議長を伊澤会長にお願いします。
議長	議事録署名人として砂川委員を指名。
	【3. 協議事項】
議長	(1) 11月のイベントに向けたアイデアの意見のまとめと要約について、事務局より説明を求める。
事務局	《資料に基づき説明》
委員	《異議なし》
議長	(2) 早期に着手可能なイベントの実施内容について、事務局より説明を求める。
事務局	《資料に基づき説明》
議長	事務局より、11月のイベント内容について具体的な案が示されたので、このことについて各委員より意見や質問をいただきたい。
	《質疑・応答》
委員	全般的に色々な企画が入っていて良いと思うが、いかに集客数を増やし周りを巻き込むかが大事だと思う。武里市民センターまつりも重なっている日でもあるのではないかな。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	武里市民センターは例年2日間かけて実施しているが、ここ数年、参加団体の方たちが徐々に減ってきている。2日間ではなく土曜日1日で十分開催可能と考え、2日目の日曜日を今回のこちらのイベントにあてるというようなことを今検討している。
委員	そうすると、外だけでなく各部屋も使える館内もうまく活用できる。
委員	「炊き出し隊」というのは、興味があったことなのでこちらでやっていただけるとすごくいいかなと。あと、「ふわふわ大型遊具」というのも、こどもが集まってくる遊具でもあるので親子でも来るのではないかな。
委員	内容が盛りだくさんで、見ているだけで楽しそうだなと。私自身もこどもを連れて参加してみたいと思った。 あとキッチンカー、いくつか食べていくところもあるみたいなので、テーブルと椅子の用意があれば、もう少しゆっくり長い時間みなさん楽しんでもいられるのではないかな。
議長	休憩場所については、事務局で考えているか。
事務局	現時点では2階の和室と会議室、このあたりを来場者休憩スペースとして考えている。外に休憩スペースを設けるということについては、これから使用スペースとの兼ね合いを考えながら事務局の方で検討する。また、公民館の駐車場を埋めて会場として使ってしまうと、来場する方の駐車場が無くなってしまうので半分くらいは残しておきたい。
議長	グラウンドは利用できないのか。
事務局	グラウンドも使えるが、車の轍が残ってしまい、その後のグラウンド利用者に不便をかける。我々が今頭を悩ませているところであり、調整を要する部分である。
議長	例えば、粕壁地区の方から来るとなると、やはり車じゃないと来にくいはずなので駐車場の確保は考えておく必要がある。 ちなみに民間バスや春バスは利用できるのか？
事務局	費用・運用面を考えても難しい。
議長	今後の検討課題として捉えていくこととしたい。
委員	こども達の参加が見込まれる中で、例えばボランティアがどんな形で関わっていけるか検討していければと思う。また、雨天の際はどうか確認しておきたい。
事務局	主は公民館内での実施となる。屋外のものは難しいという判断になるのか、多少の雨であればそのまま決行するか、検討していきたい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	それからボランティアを頼むのも難しいと感じている。学校などにボランティア依頼をしたら、学校行事があるので、なるべく早めにボランティア募集をかけたほうが良い。
委員	例えば、大型遊具なんかは小学生も体験できるサイズ感なのかななどを、募集時にお知らせしてもらいたい。
事務局	現在、想定しているのは未就学児から低学年くらいと考えている。
委員	武里公隣防災対策連絡協議会で実施していて類似したりしてるものがあるので、どう変えていくのか。ちなみにバルーン教室は参加型なのか。
事務局	自由に参加できる形を想定している。
議長	武里地区の防災士を活用するのもいいのではないかな。
委員	未就学児や小学生をイベント遊具に誘導してくれる方がいてくれると助かるという実体験がある。バルーン教室のそばに子育て相談コーナーなどがあるとさらに活用できるのではないかな。
事務局	参考とさせていただく。イベント遊具に関してはサービス内容によって依頼金額が大きく変わってくる。予算の関係もあるが、設置を含め誘導員確保のサービス内容を検討している。
委員	内容もすごく充実していると感じた。それに伴い、人を呼び込むことが重要になってくる。どういう発信をしていくのが大事な部分であり。それから交通アクセスの確保はしておきたい。やはり、依頼するのは難しいものなのか。
事務局	やはり費用面とその手段というのが、我々の今回のこの範囲の中だと正直難しいと考える。また、春バスのルート変更も同様に容易なことではない。中間報告にもあるため、将来的に向けて何らかの交通手段をこれから検討していく必要がある。
委員	他の防災事業と重なっているとまた同じなのかというマイナス要因になる。被らないような内容のものを実施してもらいたい。 また、私達もこのイベント時には手伝う形とするのか。そうであれば尽力したい。
事務局	各自治会単位ではやってはいるものの武里地区全体ではやっていないので、このような実施内容とした。委員については、時間があるようであれば見学で参加してほしい。全般的に見て感想などをもらいたい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	全体の参加人数をどのくらい目標にして、対象となる若い世代や子どもがどのくらい来るのか想定をしないといけない。これだけ多彩な行事があると駐車場の問題など企画する側も相当に大変なことである。スムーズにいかないのが常だと思うので、対応が上手くできるかどうかという点が心配でもある。
議長	それらに対応できるようボランティアを頼んで、ビブスなどで役員だと分かるようなものを身につけておくそういったことも検討していく必要があるのではないかな。
事務局	運営をはじめ、ボランティアの方にはしっかりとした役割を担ってもらえるよう工夫していきたい。
委員	福祉の観点からも車イスの救出方法などのブースを作ってもらおうとかそういった対応も必要と考える。
事務局	実施まであと2ヶ月半なので、詳細を詰めていかないといけない時期である。今年の企画の中でできる範囲として予算や人員、スペースの問題もあるので、意見としていただく。今年だけで終わりという一過性のものではなく、継続してやっていかなければいけないことだと考えている。例えば、今年は炊き出しを中心にやってみる、来年はトイレも含めて避難所としてのメインでやっていくなど、テーマをいくつか分けて数年かけてやっていくことも考えられる。今年一年で全ての意見を詰め込もうとすると難しいため、今後につなげるようにしたい。
議長	予算書の作成や協賛金を集めるなどをしておいた方がいいと思うが。
事務局	実行委員会形式ではないため、消耗品の購入や委託料などは市の予算で管理する。一般会計の中でやり繰りするので協賛金は難しい。
議長	理解した。様々な意見が出たが、いただいた意見を取りまとめて準備をさらに検討を進めていくということによろしいか。 《異議なしの声》
議長	それでは事務局はイベントの開催に向けて準備を進めていただきたい。続いて、「問題解決のための手法検討にかかる意見のまとめと要約」について、事務局より説明を求める。
事務局	《資料に基づき説明》 《質疑・応答》

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	「資料3」については、前回の会議後に皆様からのアンケート結果・意見の要約となる。この中では、やはり昨年取りまとめていただいた中間報告の中になんかなり同じ内容のものが含まれる。 第3回の会議を12月の後半から1月の中旬くらいとし、その段階で答申書としてその後に提出したいと考えている。 その答申書の中に皆様からの意見を盛り込み、我々のほうで素案を作成する。またその素案を事前に皆様に送付し、第3回の時に答申書の検討、協議、議決としたい。
議長	ただいま事務局から説明があった、「問題解決のための手法検討にかかる意見のまとめと要約」については、よろしいか。また、本日の意見を取りまとめた上、答申案に反映させるということによろしいか。
委員	《異議なし》
議長	では、事務局において次回までに資料を整えて準備を進めていただきたい。 以上をもって、本日の議題は全て終了した。最後にその他について何か事務局からあるか。
	【4. その他】
事務局	次回、第3回の会議日程は、現在予定では12月下旬頃ということで予定をしている。実際の詳しい日程については現在検討中である。日程が決まり次第、案内させていただく。
議長	この他に質問・意見はあるか。
委員	意見で出た、ボランティア募集や雨天対策は早めの対応が必要。
委員	パンフレットへの共催などの名義表記も検討してほしい。あわせて、周知・配布方法も考えていく必要がある。自治会の掲示板を活用してみたい。
議長	教育委員会を通じた児童・生徒向けのチラシ配布、学校だよりへの掲載を提案したい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	SNSは関心のある人以外に届きにくい。駅前や市役所等の目につきやすい場所へフリーペーパーを設置する広報手法を提案したい。
委員	このイベントの主催・内容と自主防災事業の違いを確認し、両者で連続性を持たせるなど効果的に連携すべき。
委員	イベントと自主防災事業との役割を分けることで、こどもを含め広く楽しめる形にできる。
委員	来場者に二次元コード（パネル掲示）等を活用したアンケートを実施し、協力者に粗品等を渡すことで情報を収集する企画を提案したい。
事務局	各意見に関して、参考とし検討していきたい。
議長	本日の議事はすべて終了となる。これをもって本日の議長職を解き、進行を事務局にお返しする。
	【5. 閉会】
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 8 年 8 月 〇〇 日 署名者の職・氏名 武里地区地域づくり推進協議会 委員 砂川 優希（原本は自署）	